

県内経済の動き

概況

〔2022年8月～2022年10月の動き〕

物価が上昇するなか個人消費や乗用車販売、住宅着工は堅調な動き

鉱工業生産指数（8月）は6カ月ぶりに前年同月比上昇、通関輸出額（9月 細島港）は4カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（9月 全店ベース）は12カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（10月）は2カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（9月）は4カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（10月 保証対象請負総額）は4カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（9月）は前月比+0.04ポイントの1.50倍で、10月の企業倒産は前月比4件増の6件、負債額は同2億19百万円減の3億26百万円となった。

百貨店・スーパー販売、乗用車販売は前年同月比増加を維持し、住宅着工は4カ月ぶりに同増加に転じた。物価上昇が懸念されるも消費は底堅く推移している。